

令和3年11月18日

自由民主党
政務調査会長 高市 早苗 様
組織運動本部長 小淵 優子 様
団体総局長 齋藤 健 様

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会 長 井 上 博

令和4年度予算並びに税制改正に関する要望

日頃より、知的障害福祉の増進にご尽力を賜り、感謝申し上げます。

障害福祉サービスの更なる充実・発展のため、令和4年度予算並びに税制改正について、次のとおり要望いたしますので、特段のご配慮をお願い申し上げます。

1. 障害福祉関係従事者の処遇改善に向けて、公的価格の引上げをお願いいたします。

障害福祉サービスを持続可能な制度とするためには、質の高い福祉サービスの提供に向けた人材の確保と、サービスの質の向上に向けた人材の育成が必要となります。

一方で、障害福祉従事者の賃金は、他の産業分野に比して著しく低い状況にあります。

政府では、介護、保育、看護などの現場で働く職員の賃金を引き上げるための公的価格のあり方を見直す議論が始まり、介護職や保育士等の賃金を月額で3%程度引上げる方針を固められており、障害福祉サービスの提供に携わる職員についても引上げの対象とするとお聞きしています。

つきましては、この度の賃金の引上げについては恒久的な取り扱いとするとともに、直接支援職員に限らず、すべての職種を対象としていただきますようお願いいたします。

また、障害福祉従事者のさらなる処遇改善に向けて、引続き公的価格の引上げと、法人内で適切に配分される処遇改善の仕組みとしていただきますようお願いいたします。

2. 障害のある方々の望む暮らしの実現に向けて、暮らしを支える基盤整備のための必要な予算の確保をお願いいたします。

障害のある方が安心して生活するためには、「どこで」「どのように」生活するのかを、ご本人が体験の機会を通じて選択することが重要となります。

そのためには、個々のニーズにきめ細かく対応できる「様々な形態の居住の場」の整備や、地域社会の一員としていきいきとした生活を送るための「社会生活支援」、「相談支援」となるよう、都市部と地方の施設整備に係る格差の解消を含め、早急に暮らしの場の整備に係る施設整備費を拡充するとともに、障害福祉サービスの充実に必要な予算の確保をお願いいたします。

また、現在、社会保障審議会障害者部会において、障害者総合支援法施行3年後の見直しに向けた検討が進められていますが、障害の状況に関わらず、すべての障害のある方の望む暮らしの実現に向けた改正となるようお願いいたします。

3. 新型コロナウイルス感染症対策に係る継続的な対応をお願いいたします。

新型コロナウイルスにより、地域において福祉施設・事業所が生活を支える重要な役割を担っていることが再確認されました。ここ最近、新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にありますが、障害福祉施設・事業所では、日々感染防止の徹底を図りながら支援を継続しています。

つきましては、引続き新型コロナウイルス感染症対策に係る特段のご配慮をお願いいたします。

また、政府におかれては、3回目のワクチン接種に向けて検討していただいているところですが、優先接種の対象であった障害福祉施設・事業所の利用者及び従事者も3回目のワクチン接種が必要な時期を迎えようとしています。

つきましては、希望するすべての障害福祉施設・事業所の利用者及び従事者に早急に接種が行われるよう体制の整備をお願いいたします。